

静岡地域の広域化

常に変化に対応し、住民の期待に応える消防

静岡県 静岡市消防局

1 広域化後の静岡市消防局管轄区域の概要

静岡市消防局は、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の2市2町から消防事務（消防団事務及び消防水利設置、維持、管理事務は除く。）の委託を受け、平成28年4月1日より広域化の運用を開始しました。



管轄区域は、静岡県の中央部に位置し、南に駿河湾の海岸線、北には3,000m級の山々が連なる南アルプスを背後に、安倍川や大井川の一級河川も抱え、約2,350km²もの広大な面積を有し、豊かな自然環境と温暖な気候に恵まれています。

都市構造としては、人口約90万人、政令指定都市の静岡市には、国の出先機関や県、市の関連施設などの官公庁街があり、商業施設や住宅街が周囲を取り囲んでいます。

インフラ面では、東名高速道路、新東名高速道路、国道1号線、東海道新幹線、東海道本線の日本の東西大都市間を繋ぐ大動脈が走り、太平洋側と日本海側を結ぶ中部横断自動車道についても、平成29年度に供用開始が予定され、大井川沿いにはS Lの走る大井川鉄道、海路物資搬送の要である清水港、国内線を始め東アジア路線も多数発着する富士山静岡空港など陸海空の大規模社会資本を有しています。

また、清水港周辺においては、石油コンビナート等特別防災区域、LNG火力発電所の建設も予定され、更に

隣接市には中部電力浜岡原子力発電所があり、雄大な自然と地域住民の暮らし、政治経済、各種インフラとエネルギー基幹産業が融合している地域です。



2 広域化に至る経緯

静岡地域(静岡市、島田市、牧之原市、吉田町及び川根本町の3市2町の区域を「静岡地域」と位置付けています。)の広域化は、平成18年6月14日(公布、施行)の消防組織法の一部改正を受け、平成20年3月25日静岡県が「静岡県消防救急広域化推進計画」を策定、平成21年10月21日「静岡県中部圏域消防救急広域化関係市長・町長会議」(5市2町 静岡市・藤枝市・焼津市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町)を開催、平成22年2月11日「中部圏域消防救急広域化連絡会議」において、3市2町で構成する枠組みにより、静岡市への委託形式で、平成28年4月に広域化することが合意されました。

平成22年8月3日「静岡地域消防救急広域化運営協議会設立準備会」を設置、平成23年8月に「静岡地域広域消防運営計画策定指針」を策定し、平成24年6月1日「静岡地域消防救急広域化運営協議会」に移行、平成25年11月11日「静岡地域広域消防運営計画」を策定しました。

平成26年度には、245件の事務事業のすり合わせ作業、平成27年度には、280件の例規等のすり合わせ作業やそ

その他詳細部分の協議・調整を行い、平成28年3月28日「静岡地域消防救急広域化協議書・規約締結式」を実施、平成28年4月1日には、3市2町の首長を始め、消防庁審議官、地元選出国會議員、県議會議員及び3市2町の市町議會議員出席のなか、「静岡地域広域消防運用開始式」を実施し、新体制で業務を開始しました。



静岡地域消防救急広域化 協議書・規約締結式

3 広域化後の静岡市消防局の組織概要

広域化後の静岡市消防局は、静岡市単独の静岡市消防局に、2市2町を管轄していた島田市消防本部、吉田町牧之原市広域施設組合消防本部、牧之原市相良消防本部が加わり、1局、2部、8課、9消防署、1分署、23出張所の組織となりました。

稼働隊は、指揮隊7隊・消防隊34隊・救助隊9隊・救急隊27隊（兼務含む）、梯子隊6隊・大型水槽車8台、その他の特殊車両として、消防ヘリコプター1機、ドラゴンハイパーコマンドユニット（大容量送水ポンプ車、大型放水砲搭載ホース延長車、大型化学車、大型高所放水車、泡原液搬送車）、特別高度工作車（大型ブローア）、重機・搬送車、大型除染システム搭載車、特殊災害対応



消防局・消防署合築の新消防庁舎

車、燃料補給車、照明電源車、空気充填車、拠点機能形成車を保有し、職員数1,039名（定数）体制となりました。

また、広域化に併せて、新消防庁舎を消防局・消防署の合築で移転新築し、消防総合情報システム及びデジタル無線の整備も行いました。

4 おわりに

静岡地域は、前述のとおり、山岳・海岸・河川の自然環境、道路・鉄道・空港・港の陸海空の交通インフラ、コンビナート・発電所等のエネルギー産業、官庁街・商業施設・住宅街の住環境など、大規模社会資本が利活用され、人・物が活発に往来する多様性に富んだ地域ではありますが、ひとたび災害が発生すると、被害の大規模化や長期化が予想されるなど、災害リスク増大の懸念が生じます。

また、甚大な被害が予想される東海地震や南海トラフ巨大地震発生への懸念、近年、頻発するゲリラ豪雨等の風水害にも対応する必要があります。

これら大規模化・複雑多様化する災害への対応として、広域化によるスケールメリットを生かし、一元管理された静岡市消防局の消防力をもって「常に変化に対応し、住民の期待に応える消防」となるよう、各市町、事業所、消防団、住民等とも連携を図り、職員一丸となって取り組んでまいります。



静岡市消防ヘリコプター